

平成 31 年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立市岡中学校

## 大阪市立市岡中学校 平成31年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

### ○ 学校教育目標

自律した個人として自己を確立させ、他者と協力し、これからの社会を担うことをめざさせ、心豊かに力強く生き抜く力を育む

### 1 学校運営の中期目標

#### 現状と課題

- 心豊かに力強く生き抜く力を育むため、主体的・対話的で深い学びが求められている。それを目指すべく、一方通行の授業形態の改善に取り組んでいる。学びの主役を生徒に据え、日々の学習活動において、工夫・改善を図ることで、生徒の学習に対する取り組みに積極的な姿勢がみられるようにしていく。その成果の一つとして、チャレンジテストにおける標準化得点を同一母集団で比較し、前年より向上しているかを指標とする。
- 他者と協力し、これからの社会を担うことをめざさせるために、様々な教育活動の場面で、互いを思いやる心の育成を主眼とした学校行事の計画実践が必要である。本校の生徒は、他者と協力し合う姿勢の定着がみられ、秩序ある集団に成長しつつある。さらに改善と向上を目指す必要がある。
- 自律した個人として自己を確立させるために、道徳心をしっかりと熟成させ、生徒に他との違いを感じさせる体験を十分に積ませことが必要である。また、バランスの取れた朝食を毎日食べることの必要性を自覚することで、自らの健康に大きな関心と注意力を身につけさせる必要がある。
- 安全で安心した学校環境を確立するための特別支援教育の充実は必要不可欠である。特別支援教育モデル研究実施校としてエントリーする。ユニバーサルデザインの定着を図り、特別支援教育担当、特別支援委員会を中心に、生徒個々の状況をしっかりと把握するとともに、共通理解をし、全教職員で、生徒に寄り添い、一人ひとりを大切にしたきめ細やかな指導と支援の充実、定着を図る必要がある。

## 中期目標

### 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 毎年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて解消した割合を95%以上の状態で継続し、最終的には100%に近づける。
- 毎年度末の校内調査において「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を90%以上の状態で継続し、最終的には100%に近づける。
- 毎年度末の校内調査において暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度末より減少させ、最終的には0に近づける。
- 毎年度末の校内調査において不登校（30日以上）の生徒の割合を前年度より減少させ、最終的には3%以下にする。

- 毎年度末の校内調査において、「校内の美化に努めている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と回答する生徒の割合を90%以上の状態で継続させる。
- 毎年度末の校内調査において、「地域や防災の活動に役立ちたい」の項目で、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と回答する生徒の割合を80%以上の状態で継続させる。
- 毎年度末の保護者アンケートにおいて、「学校は、開かれた環境である」「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と回答する保護者の割合を90%以上の状態で継続させる。

### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 毎年度末の中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より常に向上させる。
- 毎年度末の中学校チャレンジテストにおける得点が府平均の7割未満の生徒の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より常にポイントを減少させ、学力のボトムアップを図る。
- 毎年度末の中学校チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より常にポイントを増加させ、学習能力の向上に努める。
- 毎年度末の全国学力・学習状況調査における「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」に対して、「している（どちらかといえばしている）」と回答する生徒の割合を、前年度より常に増加させる。
- 毎年度末の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、すべての項目で全国平均を上回る状態を継続する。
- 毎年度末の校内調査において、放課後や土曜日そして試験前や長期休業日中の自主学習（補習を含む）の参加生徒を延べ1000人以上とし、学校評価アンケートの「自主学習をしている」と回答する生徒の割合を80%以上の状態で継続させる。
- 図書館の週の開館回数を7回以上の状態を継続し、毎年度末の校内調査において、「読書が好きだ」に対して、「好き（どちらかといえば好き）」と回答する生徒の割合を70%以上とする。
- 毎年度末の校内調査において、「早寝早起きに心がけ朝食を摂って登校している」に対して、「している（どちらかといえばしている）」と回答する生徒の割合を90%以上の状態で継続し、最終的には100%に近づける。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- 平成31年度末の校内調査において学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- 校内調査において「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を90%以上にする。
- 平成31年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を平成30年度より減少させる。
- 平成31年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を平成30年度より減少させる。

#### 学校園の年度目標

- 平成31年度末の校内調査において、「校内の美化に努めている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と回答する生徒の割合を90%以上とする。
- 平成31年度末の校内調査において、「地域や防災の活動に役立ちたい」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と回答する生徒の割合を70%以上とする。
- 平成31年度末の保護者アンケートにおいて、「学校は、開かれた環境である」「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と回答する保護者の割合を90%以上とする。

### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

#### 全市共通目標（小・中学校）

- 中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 中学校チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント減少させる。
- 中学生チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。
- 校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。
- 平成31年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査種目において、立ち幅跳び(瞬発力)・反復横跳び(敏捷性)が、前年度の結果よりも上回る。

#### 学校園の年度目標

- 平成31年度末の校内調査において、放課後や土曜日そして試験前や長期休業日中の自主学習(補習を含む)の参加生徒を延べ500人以上とし、学校評価アンケートの「**自主学習**をしている」と回答する生徒の割合を70%以上とする。
- 図書館の週の開館回数を7回以上にし、校内アンケートの「読書が好きだ」と回答する生徒の割合を60%以上とする。
- 平成31年度末の校内調査において、「早寝早起きに心がけ朝食を摂って登校している」に対して、「している（どちらかといえばしている」と回答する生徒の割合を、90%以上にする。

大阪市立市岡中学校 平成31年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</b></p> <p><b>全市共通目標（小・中学校）</b></p> <p>●平成31年度末の校内調査において学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。</p> <p>●平成31年度の全国力・学習状況調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を90%以上にする。</p> <p>●平成31年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を平成30年度末より減少させる。</p> <p>●平成31年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を平成30年度末より減少させる。</p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>○平成31年度末の校内調査において、「校内の美化に努めている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と回答する生徒の割合を90%以上とする。</p> <p>○平成31年度末の校内調査において、「地域や防災の活動に役立つたい」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と回答する生徒の割合を70%以上とする。</p> <p>○平成31年度末の保護者アンケートにおいて、「学校は、開かれた環境である」「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と回答する保護者の割合を90%以上とする。</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【道徳教育の推進】</b></p> <p>・年間計画に基づき、道徳の授業を確保し、授業に使用する読み物資料の研究、整備に努め、道徳の評価についての研究をすすめる。また、系統的、継続的な取り組みができるように努める。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p><b>指標</b> 「平成31年度の学校評価アンケート(生徒)」の結果において、道徳の学習を通して自他を尊重し、互いを思いやる心が養えていると思う。と回答する生徒の割合を85%以上とする。</p>	
<p><b>取組内容②【人権を尊重する教育の推進】</b></p> <p>・各学年、学級、部、委員会、校内組織などと連携し、生徒の生活課題を把握し、共通理解する中で、生徒の学ぶ力、生きる力を育む実践を創造し人権教育を推進する。</p> <p>・特別支援教育では、通常学級との交流を行い、共に豊かに生きる集団育成に努める。また、保護者連携を大切にし、進路保障に努める。 (カリキュラム改革関連)</p>	

<p>指標 「平成 31 年度の学校評価アンケート(生徒)」の結果において、人権の大切さについて学ぶ機会が多いと答える生徒の割合を 85%以上とする。</p>	
<p>取組内容③【キャリア教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人一人が自分の個性や存在の大切さを自覚し、互いに認め励ましあい、高めあうことができる集団の育成に努める。</li> </ul>	(カリキュラム改革関連)
<p>指標 「平成 31 年度の学校評価アンケート(生徒)」の結果において、将来の進路や生き方について考えたことがあると答える生徒の割合を 80%以上とする。</p>	
<p>取組内容④【校種間連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小・中学校の一貫した学習指導や生活指導の方法などの研究に努める。</li> <li>昨年度に引き続き、小・中合同による、全教員の研修会を計画実施する。</li> </ul>	(マネジメント改革関連)
<p>指標 小中連携の機会を昨年度より増やし、教科における小小連携の橋渡しをする。</p>	
<p>取組内容⑤【いじめへの対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全教職員があらゆる場面において、いじめは絶対に許されないものであることを指導し、いじめを未然に防ぐよう努め、早期発見、対応に協力して取り組む。アンケートも実施する。</li> </ul>	(カリキュラム改革関連)
<p>指標 「平成 31 年度学校評価アンケート(生徒)」の結果において、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと考えることや、そのような雰囲気を出させない」生徒の割合を 95%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑥【問題行動への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題行動について情報を共有し、発生時には全教職員で協力、連携して対応にあたる。</li> </ul>	(学校サポート改革関連)
<p>指標 校務部会、主任会、職員会、職員朝礼などで情報を共有し、生活指導の共通理解を図り、全教職員が協力、連携して指導にあたる。</p>	
<p>取組内容⑦【防災教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種防災訓練、道徳、総合の時間等を通じ、防災に関する意識を高める。</li> <li>地域との連携による防災訓練を計画実施し、防災拠点としての存在を確認する。</li> </ul>	(マネジメント改革関連)
<p>指標 「平成 31 年度学校評価アンケート(生徒)」の結果において、「地域や防災に役立つたい」とする割合を 70%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑧- 1 【特別活動 生活指導部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会専門委員を分担し、生徒会活動を充実させる。</li> <li>学校行事、学級活動、部活動などを通じ、集団意識を高める。</li> <li>部活動の充実、活性化を図る。</li> </ul>	(マネジメント改革関連)
<p>指標 「平成 31 年度の学校評価アンケート」の結果において、「学校は特別活動の充実に努めている」と答える割合を 80%以上にする。</p>	

<p>取組内容⑧－2 【特別活動 各学年】</p> <p>(1年) 様々な活動を通して、連帯感や責任感を大切にし、挨拶や感謝の気持ちを伝え合える集団を育成する。</p> <p>(2年) 様々な学校行事・学年行事を経験させながら、互いの違いを認め合い、仲間と協力し支え合える集団を育成する。また自分自身の特性を見つめ直し、進路を考えさせる機会を持たせる。</p> <p>(3年) 学校行事、学年行事へ自らが積極的に参加することで自主性を育て、他者への思いやり、協調性を身に付けさせる。また進路に向けて自らが考え、選択できる力をつけさせる。</p>	
<p>指標 「平成31年度の学校評価アンケート(生徒)」の結果において、体育大会や文化祭、芸術鑑賞、宿泊行事などの学校行事は楽しみであると答える生徒の割合を、80%以上とする。</p>	
<p>取組内容⑨【国際理解教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「帰国した子どもの教育センター校」と連携して、多文化共生教育の推進に努める。</li> <li>各活動において、人権教育に基盤を置いた国際理解、多文化共生教育に努める。</li> </ul> <p>(マネジメント改革関連)</p>	
<p>指標 「平成31年度の学校評価アンケート(保護者・生徒)」の結果において、学校は国際理解教育の推進に努めていると答える割合を80%以上とする。</p>	
<p>取組内容⑩【美化・環境整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校舎内外の美化、清掃を徹底するとともに、机・椅子等の公共物を大切にする意識を高める。</li> </ul> <p>(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 「平成31年度の学校評価アンケート(保護者・生徒)」の結果において、「学校は美化・環境整備が整っている」と答える割合を95%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑪【学校・家庭・地域の連携の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の行事や取組に積極的に参加するとともに協力する。特に吹奏楽部は地域からの参加協力要請が多くあり地域の期待に応えられるよう努める。</li> <li>地域との連携を深めるため、土曜日に本校茶道部が地域の方を招待し、お茶会を実施する。</li> </ul> <p>(学校サポート改革関連) (ガバナンス改革関連)</p>	
<p>指標 「平成31年度の学校評価アンケート(生徒)」の結果において、「今住んでいる地域の行事に参加している」と肯定的に回答する割合を80%以上とする。</p>	
<p>取組内容⑫【特別支援教育の充実 情報交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個々の生徒についての、効果的で全校的な情報交換を実施する。(カリキュラム改革関連)</li> </ul>	
<p>指標 定期的に「特別支援委員会」を開催し、効果的で全校的な情報交換をする</p>	
<p>取組内容⑬【特別支援教育の充実 生徒対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個々の生徒に応じた、より適切な対応(指導・支援)を実践する。</li> </ul>	

	(カリキュラム改革関連)	
指標	「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」に基づいた指導と支援を行い、生徒が社会に自立できるよう、可能性を伸ばす	
取組内容⑭【特別支援教育の充実 進路指導】		
・入学前、卒業後も含めた進路指導を実践する。		
	(カリキュラム改革関連)	
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入生については進学相談、中学校見学会、小中連絡会、入学前懇談会等を行い、小学校や保護者との連携を密にはかる。</li> <li>・卒業生については、中高連携を深めることにより、生徒把握に努める。</li> </ul>	

大阪市立市岡中学校 平成31年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p><b>全市共通目標（小・中学校）</b></p> <p>●中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>●中学校チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント減少させる。</p> <p>●中学生チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。</p> <p>●校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。</p> <p>●平成31年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査種目において、立ち幅跳び(瞬発力)・反復横跳び(敏捷性)が、前年度の結果よりも上回る。</p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>○平成31年度末の校内調査において、放課後や土曜日そして試験前や長期休業日中の自主学習(補習を含む)の参加生徒を延べ1000人以上とし、学校評価アンケートの「<b>自主学習をしている</b>」と回答する生徒の割合を70%以上とする。</p> <p>○図書館の週の開館回数を7回以上にし、校内アンケートの「<b>読書が好きだ</b>」と回答する生徒の割合を60%以上とする。</p> <p>○平成31年度末の校内調査において、「<b>早寝早起きに心がけ朝食を摂って登校している</b>」に対して、「<b>している（どちらかといえばしている）</b>」と回答する生徒の割合を、90%以上にする。</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①－1 【教務部 授業を伴う校内研修の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員が年1回以上の公開授業を実施し、意見交換をする中で、指導力の向上を目指す。 (マネジメント改革関連)</li> <li>・各教職員が、説明・板書・発問の実施方法を見直し、生徒にとって「わかりやすい授業」となるよう工夫する。 (カリキュラム改革関連)</li> <li>・初任者や若手教員と中堅・ベテラン教職員によるOJTを実践する。 (マネジメント改革関連)</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員が年1回以上、授業研究を実践する。</li> <li>・今年度の授業アンケート調査で、「授業はわかりやすい」と回答する生徒の割合を80%以上とする。</li> </ul>	

取組内容①－2 【教務部 自主学習習慣の確立】

- ・宿題や課題の提出、確認テストなどの実践により、生徒の学習理解度を確認し、生徒が一人で学ぶことができる学習教材を提供し、自主学習の習慣を身につけさせる。

(カリキュラム改革関連)

- ・学校元気アップ事業と共同で放課後などの補習を含めた自主学習会を開催し、参加生徒の目標をのべ1000人以上とし主体的な学びと自主学習の定着をはかる。

(カリキュラム改革関連)

指標 「全国学力・学習状況調査」において、「家で復習している・どちらかといえばしている」と答える生徒の割合を80%以上とする。

取組内容①－3 【教務部 ICT 機器の活用】

- ・ICT 機器の活用により、視覚的に教材提示をすることで、生徒にとって授業が楽しく、わかりやすくなるような工夫をする。
- ・ICT 機器の整備を進め、活用に関する校内研修を実施する。

(マネジメント改革関連)

(マネジメント改革関連)

指標 「教職員対象のアンケート」において、「ICT 機器を用いた授業を行ったことがある」と回答する教員を70%とする。

取組内容②－1 【各教科】〈国語〉

- ・相手や目的に応じて、筋道立てて適切に文章を書くことができるよう、作文指導、手紙・葉書の書き方指導を行い、「書く能力」の向上に努める。
- ・話を的確に聞き取り、丁寧にかつ適切に文章化する力を養えるよう、ノートのまとめ方の指導や、聞き取りテストを行う。さらに、聞き取った情報を踏まえて、目的や場面に応じて筋道を立てて話すことができるように指導することで、「話す・聞く能力」の向上を図る。
- ・読書の習慣を身につけさせ、文章を的確に読み取り、読書に親しみを持つことができるよう、図書館を利用した授業づくりや、朝読書の振り返りを行うことで、「読む力」の育成につなげる。
- ・これら全ての基盤をつくりながら、語句、語彙、漢字等の力を身につけさせることで、「知識・理解・技能」の力を高める。
- ・様々な授業づくりを行いながら、言語活動に進んで取り組み、互いに伝え合うことに熱心な姿勢がみられるよう、国語への「関心・意欲・態度」を高める。

(カリキュラム改革関連)

指標 生徒アンケートの項目「国語の自主学習をしている」において、肯定的な意見の割合を60%にする。**チャレンジテストにおいて、「大阪市の平均」との差を前年度より縮める。**

取組内容②－2 【各教科】〈社会〉

- ・時事問題を提示することにより、社会に関する関心を高める。
- ・生徒が主体の授業を開拓し、社会的事象についての思考力をつけ、社会の変化をふまえて、公正に判断し表現することができるようとする。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本的な知識の確認を毎時間行い、学力の定着をはかる。 (カリキュラム改革関連)</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科で実施するアンケートの結果において、「社会の授業は分かりやすい」「自分の考えを授業の中で表現できる」の割合を 75 %以上とする。</li> <li>・各学年のチャレンジテストを市平均と同水準とする。</li> </ul>	
<p>取組内容②－3 【各教科】〈数学〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的事項の習熟を図り、基礎学力の向上に努める。特に導入における教材および授業形態の工夫を進めることで『関心・意欲』を高め、学習に対する前向きな姿勢を育みたい。</li> <li>・日々の授業において復習の機会を確保し、小テストなど理解度の確認を行うことで『知識・理解』を深め、練習問題に繰り返し取り組ませることで数学的な表現や処理を行う『技能』を高めたい。</li> <li>・事象を多面的にとらえ、ひとつの設問に複数の解法を見出すなど数学的な『見方・考え方』を身に付けるため、基礎学力の向上に加えて発展的な内容に取り組む力を養う。</li> </ul>	
	(カリキュラム改革関連)
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟授業の実施前後のアンケートにおいて、「今の授業形態が自分の学習に相応しいと思う」の割合を 10 %上げる。</li> <li>・チャレンジテストにおいて、「大阪市の平均」との差を昨年よりも縮める。</li> </ul>	
<p>取組内容②－4 【各教科】〈理科〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「感心・意欲・態度」 発達段階に応じて、子どもたちが知的好奇心を持って自然に親しめるように、観察実験を多く取り入れる。</li> <li>・「思考・表現」 指導内容に応じて、観察や実験の結果を整理し考察する学習活動を取り入れる。現象を科学的な考え方を用いて言葉や図・表などを用いて表現できるようになる。</li> <li>・「技能」 主体的に実験・観察に参加できるような実験技能の習熟をめざす。</li> <li>・「知識・理解」 科学的な認識の定着を図り、調べる能力や正しく判断する能力を養う。</li> </ul>	
	(カリキュラム改革関連)
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「平成 31 年度の学校評価アンケート(生徒)」の結果において、授業は分かりやすい、の割合を 70 %以上とする。</li> <li>・大阪市統一テストにおける得点率を昨年度並みに維持する。</li> <li>・1 年生においては学年末テストの平均点を 55 %、2・3 年生においては 2 学期実施の実力テストの平均点を 50 %とする。</li> </ul>	
<p>取組内容②－5 【各教科】〈音楽〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「意欲・関心・態度」 毎時間、学習内容・学習到達点を明確にすることで「意欲・関心・態度」を高め、「できた」という達成感を味わえるようにする。</li> <li>・「創意工夫」 音楽の表現を高めるために、どんなことを工夫するか考え、判断し、実践につなげられるようにする。また、楽譜に書かれている記号などを意識して演奏できているかを毎回の授業や実技テスト、筆記テストにより確認する。</li> <li>・「技能」 発声、発音、奏法、ブレスコントロール、音程、表情、リズム感、曲のまとまりや雰囲気を表現する技能が身についているか、授業や実技テストで確認する。</li> </ul>	

・「鑑賞の能力」 作曲家の意図や思い、演奏者の意図を感じ取り、理解し、それを言葉に表してプリントにまとめさせる。また、音楽作品の作られた時代背景に興味をもち、理解しようと努める姿勢を養う。学習した内容をプリントや筆記テストにより、定着を図る。

(カリキュラム改革関連)

指標 授業内に実施する独自のアンケートにおいて、授業はわかりやすい、の割合を 80% 以上にする。

取組内容②- 6 【各教科】〈美術〉

- ・授業の準備物やプリント、作品の提出ができること。また、準備や後片付けを含む、意欲的な姿勢で課題に取り組む態度を養い、伸ばす。
- ・課題を通して、独創的なアイディアで表現ができ、計画的に作業ができる能力を養う。
- ・実習において、用具の使い方など創造的な技能を養い伸ばす。
- ・鑑賞では、美術作品に込められたメッセージや表現方法を、味わい、感じ取る主体的な姿勢を養う。

(カリキュラム改革関連)

指標 授業で取り組んだ課題作品を完成させ、提出できる割合が 80%以上にする。

取組内容②- 7 【各教科】〈保健体育〉

- ・授業に必要な用具をそろえ、毎時間実施するランニング、ラジオ体操等の準備運動を意欲的に取り組んでいるかを自他ともに点検させることで関心・意欲・態度を高める。
- ・単元ごとの記録カード(考察項目含む)等を記入させることにより、各自の思考・判断力を高める。また、相互点検させることで、互いの技能や形などの確認点検を行い、理解、適切な判断、指示できる力を養う。
- ・運動の楽しさ、達成感や喜びを味わいながら技能を高めるための授業の工夫を行う。
- ・定期考查、学習ノートなどを通じ、保健体育に関する総合的な知識・理解を高める。

(カリキュラム改革関連)

指標 平成 31 年度の「大阪市体力・運動能力調査」の結果において、各学年の体力合計得点を大阪府平均以上にする。

・「以前より体力がついた」という生徒アンケートの割合を 70%以上にする。

取組内容②- 8 【各教科】〈技術・家庭〉

- ・生徒一人一人が自主的に取り組み、互いに協力し合い、生活の自立に必要な基礎基本的な知識や技能の定着に努める。
- ・「関心・意欲・態度」については、授業への積極性、話を聞く姿勢、班活動で意見を発表するなどの態度、提出物や忘れ物などをもとに意欲的に授業に参加することで、より良い生活を送るための知識や技術を進んで活用しようとする力を養う。
- ・「工夫し創造する能力」については、ノートやプリント、ワークにメモをとり、テスト前の自主学習等を提出することで、自ら主体的に工夫・創造する力を養う。
- ・「技能」については栽培・調理・裁縫等の実習や作品を丁寧に正確に製作、作業しているか、実習レポートを丁寧に完成させているか等をもとに、基礎的な技術を身に着ける力を養う。
- ・「知識・理解」については、定期テストを行うことにより、学習した内容のさらなる定着を図る。

	(カリキュラム改革関連)	
指標	授業内に実施する独自のアンケートにおいて、授業はわかりやすい、の割合を技術・家庭科の平均をとて 80%以上にする。	
取組内容②-9 【各教科】〈英語〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>「関心・意欲・態度」については、提出物(自主学習ノートも含む)等の点検を入念に行う。また授業中については積極性やサポート姿勢についてもチェックする。</li> <li>「表現の能力」について、スピーチングテストや英作文において各学期 1 回以上行う。適宜 C-net の先生の協力を得る。</li> <li>「理解の能力」については、授業中においてリーディング、リスニングの課題、また定期テストや実力テストにおいて読解力をはかる。</li> <li>「知識」については、主に定期テストや実力テストにおいて、英文法を理解し、文化的な事柄について知識を広げる。</li> </ul>	(カリキュラム改革関連) (グローバル化改革関連)
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>習熟度別授業の実施前後のアンケートにおいて、「授業がわかりやすい」の割合を 10%上げる。</li> <li>2 学期実施の英語能力判定テストにおいて 1 年 5 級レベル 85%、2 年 4 級レベル 60%、3 年 3 級レベル 50%を目指す。</li> </ul>	
取組内容③【図書館】	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝読書を行い、読書の習慣を身につけさせる。</li> </ul>	(マネジメント改革関連)
指標	生徒アンケートにおいて「読書が好きだ」と肯定的に回答する生徒の割合を 50% 以上とする。	
取組内容④【若手教員研修の充実】	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研究授業、各種校内研修の充実を図り、教科指導力を含む、教師力の向上を図る。</li> </ul>	(マネジメント改革関連)
指標	経験年数 3 年未満の教員を中心に、教科指導力を高めるため、校内の研究授業や各種研修を年 3 回実施する。	
取組内容⑤-1 【学力向上 各学年 1 年】	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベル着を定着させ、授業を大切にする心を養うとともに基礎・基本的な事柄の定着を目指す。</li> </ul>	(マネジメント改革関連)
指標	チャレンジテストの平均正答率を大阪市の平均程度にする。	
取組内容⑤-2 【学力向上 各学年 2 年】	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科の自主学習を充実させ、テスト前や休業中を中心に補習学習を行い、基礎学力の向上を目指す。</li> </ul>	
指標	チャレンジテストの平均正答率を昨年度の市平均との比較した値を、各教科 1 ポイント以上あげる。	
取組内容⑤-3 【学力向上 各学年 3 年】	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主学習の意識を高めさせ、学習会への積極的な参加や英検等の検定試験への積極的に挑戦する姿勢を身に付けさせる。</li> </ul>	

<p>指標 チャレンジテストの平均正答率の市平均との差を昨年度より縮める。英検等の受検者数を昨年度より増加させる。</p>	
<p>取組内容⑥【食育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「食育だより」などを活用して生徒、保護者の意識を高める。</li> <li>・<b>文化給食</b>委員を中心に調べ学習を行い、「食」への関心を高める。 (カリキュラム改革関連)</li> </ul>	
<p>指標 「平成31年度の全国学力・学習状況調査」の結果において、「早寝早起きに心がけ朝食を摂って登校している」に対して、「している（どちらかといえばしている」と回答する生徒の割合を、<b>90%以上</b>にする。</p>	
<p>取組内容⑦【健康な生活習慣の確立】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健だよりや保健委員会の活動を通じて、疾病予防意識を高め、心身ともに健康な体作りの推進を図る。</li> <li>・各種検診の結果をもとに治療勧告をし、早期治療を図る。本人、保護者にも意識を持たせるよう指導を行う。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(マネジメント改革関連)</p>	
<p>指標 平成31年度は昨年度より各疾病の受診率を増やす。</p>	
<p>取組内容⑧【体育的行事の充実】(保健体育科)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育委員などのリーダーを育成し、そのリーダーとともに学校行事や学年行事、学級活動の充実を図る。</li> <li>・部活動の活性化に努める。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 3学期に行う「保健体育科」の授業アンケートの結果において、運動やスポーツをすることに興味が増したと答える生徒の割合を90%以上とする。</p>	
<p>取組内容⑨【体力向上への支援】(保健体育科)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容や教材を工夫し、生徒に運動への興味関心を持たせる。</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとに教師間で意見交流し、積極的に運動に取り組む生徒を昨年度よりも増やす。</li> <li>・<b>「運動することが楽しい」「体を健康に保つことに興味を持った」という生徒アンケートの割合を70%以上</b>にする。</li> </ul>	
<p>取組内容⑩【体力向上の取組 各学年】</p> <p>(1年) 学年集会、学年活動を通して、基本的生活習慣、規律ある行動を身につけさせるとともに、<b>積極的に活動する姿勢を育てる</b>。</p> <p>(2年) 基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、食育等健康に関する学習や指導を行い健康に対する意識を高める。また、スポーツ大会を計画・実施することにより、学年全体で積極的に運動に取り組む機会を増やす。</p> <p>(3年) 基本的生活習慣を身につけさせ、進路に向けて健康意識を高める。また、最高学年として体育行事や部活動に、より積極的に取り組む姿勢を育てる。</p>	

指標 「平成31年度の大阪市体力・運動能力調査」の結果において、各学年の合計得点を昨年度の水準より増やす。